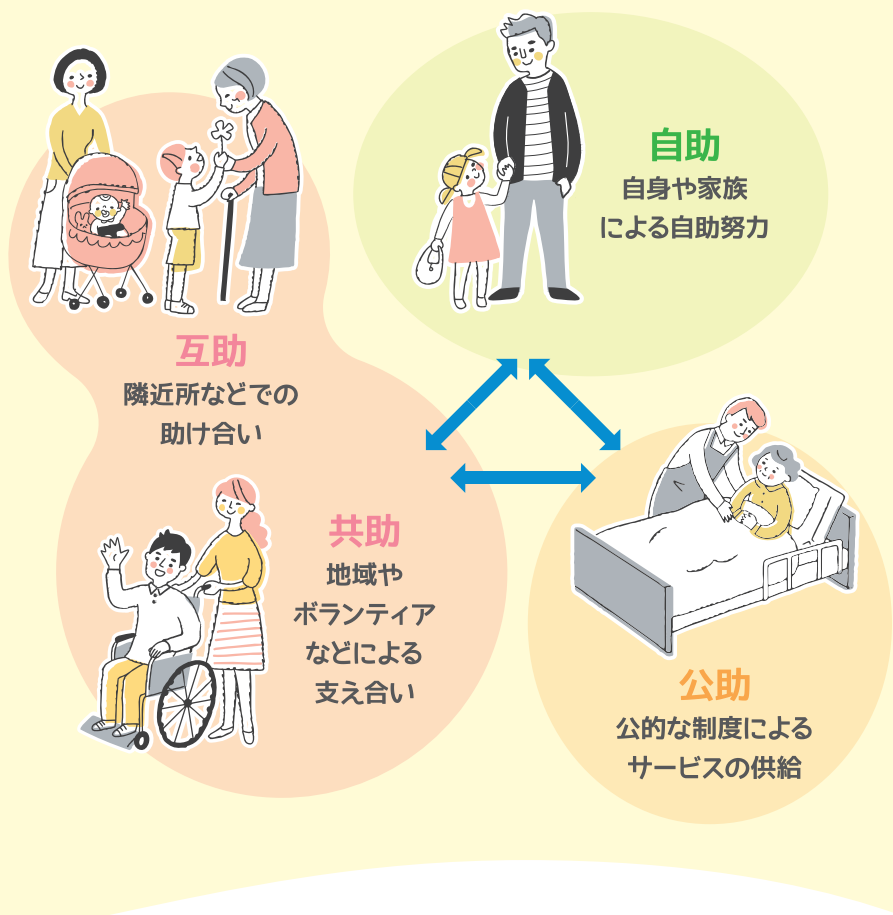


地域福祉とは

自助・互助・共助・公助が ともにに関わり合い、 地域に合った取り組みを 行うこと

住み慣れた地域で誰もが幸せに暮らすためには、法や制度で救う社会保障だけでなく、地域で暮らす人たちが同士で支え合うことが欠かせません。

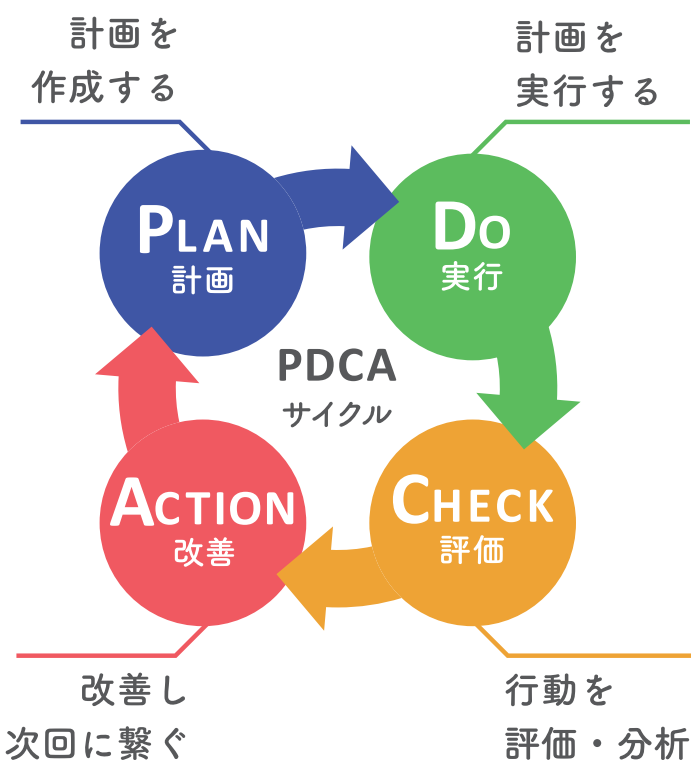
官・民の専門職による制度サービスと、市民一人ひとりが主体となって行う多様な助け合いの活動をつなぐことが、地域福祉の役割です。



【計画の推進に向けて】

本計画に基づく地域福祉の取り組みを効果的かつ継続的に推進していくために、PDCAサイクルに基づき、定期的に職員や関係者、関係団体において進捗の確認を行い、その結果を推進委員会や理事会及び評議員会に報告し提言をいただきます。

また、提言をいただいた評価、意見は次年度以降の本会の事業計画・活動方針等へ反映させるとともに広報紙やウェブサイト等で地域の皆様に周知します。



第4次地域福祉活動計画

令和5年3月

発行 社会福祉法人石巻市社会福祉協議会
〒986-0825 石巻市穀町15番2号 石巻市ささえあいセンター3階
TEL 0225-96-5290
URL <https://www.ishinomaki-shakyo.or.jp>



石巻市社会福祉協議会 第4次地域福祉活動計画 概要版

計画期間 令和5年度～令和8年度

4TH ACTION PLAN
ISHINOMAKI
COUNCIL OF SOCIAL WELFARE

【地域福祉活動計画について】

地域福祉活動計画は、石巻市の「地域福祉計画」と連携して、地域住民、社会福祉を目的とする事業者、団体、民間企業、行政機関などが「地域の助け合いによる福祉（地域福祉）」を計画的に推進するための活動・行動計画です。

【計画策定の趣旨】

市内の社会状況は、少子高齢化や人口減少により地域や家庭での支え合いの基盤が弱まり、社会的孤立、8050問題、虐待、消費者被害など地域や個人が抱える課題は複雑かつ多様化しています。また、近年は新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでの地域活動やサロン活動、趣味活動にも制約を受け、人と人とがつながる機会はさらに減少し、日常生活や地域経済にも大きな影響を及ぼしています。

こうした課題の解決には、地域の状況に合わせたその地域の住民や地域活動団体による支え合い、助け合いの仕組み、行動が必要であることから、本計画には住民主体の活動が目指すべき目標や活動の方向性を掲載しています。

【計画の基本理念】

誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり

基本理念の実現に向け、基本的な視点と活動目標は次のとおりとします。

基本的な視点 ① 気づこう

活動目標: みんなで周りの人の思いや環境、変化に気づこう

地域福祉を推進していくには、市民それぞれが自分の住む地域に関心を持ち、地域の課題を身近なものとして捉えることが大切です。地域や福祉について学ぶ・知る機会をつくり、SOSや困りごとを見逃さない地域づくりを進めていきます。

基本的な視点 ② つながろう

活動目標: みんなで多種多様なつながりをつくらう

住民の誰もが孤立することなく、住み慣れた地域で暮らしていくためには、地域の人や多様な組織がつながり協力し地域活動を進めていくことが大切です。地域活動に参加できる機会をつくり、お互いに気にかけて合う関係づくりを進めていきます。

基本的な視点 ③ 支え合おう

活動目標: みんなで支え合いのあるあたたかい地域をつくらう

地域や個人の課題は複雑化・多様化しており、公的サービスだけでなく地域住民や関係団体、企業などの強みを活かした多様な関わりが重要となっています。地域を基盤としたニーズに応じた柔軟な活動・ネットワーク構築を進めていきます。

基本的な視点 ① 気づこう

活動目標

みんなで周りの人の
思いや環境、
変化に気づこう

活動項目

① ②

基本理念・基本視点・ 活動目標の関係性

3つの枠組のそれぞれの活動は、一方通行の関係ではなく、
状況に応じ横断的に取り組む必要があります。

基本的な視点 ② つながろう

活動目標

みんなで
多種多様な
つながりをつくろう

活動項目

③ ④ ⑤

基本的な視点 ③ 支え合おう

活動目標

みんなで支え合い
のあるあったかい
地域をつくろう

活動項目

⑥ ⑦ ⑧

基本理念

誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり

基本的な視点 ① 気づこう

活動目標

みんなで周りの人の思いや環境、変化に気づこう

活動項目 ① 福祉や地域のことを知る 学びの場への参加

例えば

個人・地域

福祉の学びの場に参加し、知ることができた情報を
家族や知人と話してみよう。

社協

学校や地域で取り組む福祉の学びをサポートします。

みんなで学び合い、
みんなで気づき合える
地域になったら
いいね。



活動項目 ② 福祉情報の収集と発信

例えば

個人・地域

知ることができた制度やサービスなどの福祉情報を
身近な人と共有してみよう。

社協

情報を整理し、広報紙やウェブサイトでタイムリーに
わかりやすく発信します。

必要な時に
必要な福祉情報が
行き届く地域に
なったらいいね。



基本的な視点 ② つながろう

活動目標

みんなで多種多様なつながりをつくろう

活動項目 ③ 住民が気軽に相談できる仕組みづくり

例えば

個人・地域

普段から身近な人と挨拶を交わし、顔の見える関係をつくりましょう。

社協

市民が気軽に相談できるように、身近な場所での
「なんでも相談会」を実施します。



困っている人の
話を聞いて
思いに寄り添える
地域になったら
いいね。

活動項目 ④ 子ども・若者とともに考える地域づくり

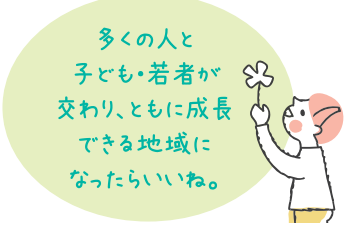
例えば

個人・地域

子ども・若者の視点から、地域の活動や情報を発信してみましょう。

社協

子ども・若者の地域に対する思いや地域の未来について
語り合える場をつくりま。



多くのひと
子ども・若者が
交わり、ともに成長
できる地域に
なったらいいね。

活動項目 ⑤ 地域にある多様な社会資源との協働

例えば

個人・地域

それぞれの団体の良さを活かし、地域の中で役割を見つけ
活動してみましょう。

社協

他機関連携を強化し、地域における公益的な取り組みを
推進します。



様々な団体、
企業がつながり、
地域活動に
取り組める地域に
なったらいいね。

基本的な視点 ③ 支え合おう

活動目標

みんなで支え合いのあるあったかい地域をつくろう

活動項目 ⑥ 地域活動やボランティア活動への参加

例えば

個人・地域

地域のニーズに合わせて、ちょっとしたお手伝いなど
できることから取り組んでみましょう。

社協

地域の中で一人一人の力が発揮できるボランティア講座を実施します。



自分の住んでいる
地域に愛着を持ち、
一人一人の力を
発揮できる地域に
なったらいいね。

活動項目 ⑦ 配慮や支援を必要とする人の 理解とサポート

例えば

個人・地域

身近な人の生活や環境を理解し、尊重する
気持ちを持ちましょう。

社協

配慮や支援を必要とする人の相互理解の場として
座談会や出前講座を実施します。

一人一人の思いや
希望が尊重され
多様な生き方が
認められる地域に
なったらいいね。



活動項目 ⑧ これからも安心して暮らせる地域づくり

例えば

個人・地域

避難訓練への参加や防災について学び、
身近な人と地域の防災について話してみよう。

社協

防災に関する福祉学習を実施し、地域の支え合いの意識を醸成します。



日頃のつながりを
大切にし、
災害にも強い
地域になったら
いいね。